

発等で連携して取り組ん

した。

指導を受け穂木の採取

初めて見る接ぎ木作業

のお礼の言葉をいただきま

でいる森林総合研究所 林

その結果、第六小

した。

木育種センター 関西育種

学校のアカマツを接

採取したアカマツは二

場（岡山県）に相談した

ぎ木により増殖する

年後に同じDNAを持つ

ところ、巨樹・名木等の

こととし、一月二九

アカマツの幼苗として第

遺伝資源のクローン増殖

日に関西育種場によ

六小学校に帰ってくる予

サービス「林木遺伝子銀

る穂木採取が行われ

定です。

行一〇番」を紹介され、

ました。

定です。

第六小学校から関西育種

当日、四年生から

定です。

場に申請することにし

六年生の児童が校庭

定です。

のアカマツを囲



み、関西育種場職員

することができました。

から、接ぎ木による

校長先生からは、「これ

増殖方法の説明を受

で、アカマツの新しい生命

けた後、児童が穂木

が生まれることになり、生

を採取し体育館で育

徒、地域の方々ともに大き

種場職員の行う接ぎ

な期待を寄せています。ま

木作業を観察しまし

た、技術普及課、関西育種

木を台木に接ぎ木す

のためご尽力いただきあり

る貴重な作業を目に

がとうございました。」と



定です。



「介良の祭り」で森林の大切さをPR

〈技術普及課〉

一月二五日、高知市立介

「ふれあい参観日・介良の

良小学校において、森林・

祭り」の体験学習コーナ

木工教室を実施しました。

の一つとして、木工製作の

これは、介良小学校から、

体験活動を通じて森林への

親子が参加するイベント

理解を深めさせたいと、当



アカマツ近景

森林教室



局に依頼があったもので、木に関するミニクイズなどを実施し

当日は、地域の方々の協力を、二・三の体験コーナーが設けられ、森林・木工教室には一七組の親子等が参加しました。内容は、「世界で一番高い木は?」「世界で一番森の多い国は?」などの外、絶対知

まず最初に、森林に親しみを持ってもらうため、名前(シヨウベン

ノキ)も全員正解するなど、参加者は皆博識で、全問正

解者が多数いました。その後、それぞれ希望していた木工作品作りを行いました。

希望作品は九種類に分かれ、五名での指導となり、時間内に終わるか心配でし

皆さん真剣に取り組んでいます



たが、児童の頑張りや、父兄の助けもあり、オリジナルな作品に仕上がりました。

一緒に来ていた参加児童の弟・妹、また、作品が仕上がった児童には、ジーゼミ等を作ったり、木

のおもちゃで遊んだりして、木の温もりを肌で感じてもらいました。児童たちからは「カブトムシの足を貼り付けるのが細かくて難しかった。」「おひな様の色を塗るのが難しかった。」「木に興味をもてたので、自分でもいろいろ調べてみたい。」などの感想があったほか、三年生の児童(一年生から三年連続参加)のお母さんから、「四月には弟も入学します。来年は兄弟で参加させます。毎年作品を壁に並べて飾ってますが、少しずつ丁寧に、工夫が

できてきていて、これも成長かな・・・と見比べて楽しんでます。」とたいへん嬉しい言葉をいただき、今後、森林木工教室を開催するにあたって、一層の励みとなる「介良の祭り」でした。



ビンゴゲーム、輪投げ、木のおもちゃおもしろい?

各地のたより



二月六日、社会福祉法人みずほ会みずほ保育園において、園児八名と、徳島市立昭和保育所園児八名の卒園記念として合同で行う森林教室が開催されました。当署職員も講師派遣と資機材提供の依頼があり、連携して実施することとなりました。

まず、保育園から見える眉山を眺め、森林に関わる

この大切さを知ってもらうため紙芝居を行い、森林に住むたくさんの動物が生きていくには、山の木を伐ったり手入れをすること



上手に出来るかな (時計&カレンダー)

が必要なことを学びました。

また、カズラや樹木や木の実等に直接触れて答えるクイズを行いました。園児達は手で感触を確かめたり、臭いを嗅いだりして様々な感想とともに、楽しく答えてくれました。

特に、カズラは、木に巻き付いて枯らしたり弱らせたりするので、人の手でカズラを切って手入れをすることが大切であることを、紙芝居の内容に沿う形で説明しました。

その後、卒園記念の「時計&カレンダーづくり」を行いました。

は、いい、これ、わかる人？



見せ、盛況のうちに森林教室を終りました。

今回、卒園記念として合同で森林教室を実施しましたが、本日、学んだことや製作した作品は、小学生になってもいつまでも大切な思い出として、持ち続けて

児童はその上に木の実や木の枝等を使って飾り付けや色塗りを行うこととしました。みんな夢中になって取り組んでいました。作るのに苦戦している子には、当署職員や先生がサポートしました。出来上がった作品を前に、園児たちは笑顔を

の心に根付いてくれるよう、地域の要請に応えながら、森林環境教育の内容の充実や実施方法の改善に取り組んでいきます。

平成 26 年度四国森林・林業研究発表会 発表課題及び審査結果

発表順	発表課題	発表者		審査結果
		所属	氏名	
1	下刈り省力化とシカ害対策に向けた新たな試みについて ～エリートツリーの植栽とシカ食害対策クリップの導入～ (経過報告)	高知中部森林管理署 別府森林事務所森林官 四国森林管理局 森林技術・支援センター所長	小松 大高 池本 育利	日本森林技術協会理事長賞
2	大規模な荒廃地の復旧方法の検討について	安芸森林管理署 治山技術官 係員	猪迫 啓司 津野 友謹	
3	名勝・入野松原の再生 — 地域連携による取組 —	四万十森林管理署 浮鞭森林事務所 森林官	中村 正史	
4	早明浦地区民有林直轄地すべり防止事業概成に伴う取組と成果	嶺北森林管理署 早明浦治山事業所 治山技術官 係員	松本 充弘 藤永 裕文	
5	囲いわなによる効率的なシカ捕獲及び普及について	四国森林管理局 森林技術・支援センター 業務係長	芹口 竜一	四国森林管理局局長賞 (最優秀賞)
6	屋島国有林における落石防止対策の取組について (災害に強い山づくりの推進)	香川森林管理事務所 総括治山技術官 治山技術官	鎌田 慎治 加用 貴章	
7	かかり木の安全対策について	愛媛森林管理署 森林整備官 係員	水田 英司 武市 泰典	四国森林管理局局長賞 (優秀賞)
8	作業道開設に伴う真砂土地帯における丸太組工と法面保護	(独) 森林総合研究所森林農地 整備センター松山水源林整備事務所 係長 主幹	則松 大雄 井上 弘一	四国森林管理局局長賞 (優秀賞)
9	三嶺におけるオーバーユース及びシカ食害対策の活動について	NPO法人 三嶺の自然を守る会 理事長 会員 徳島森林管理署 森林技術指導官	暮石 洋 内田 忠宏 國見 公一	四国森林管理局局長賞 (優秀賞)
10	林業の成長産業化を図る流通改革～中予地域における契約販売への取組～	愛媛県中予地方局産業経済部 森林林業課 係長 係長	亀岡 泰次 俊成 秀樹	日本森林林業振興会会長賞

発表順	発表課題	発表者		審査結果
		所属	氏名	
11	地域の眠った財産を掘り起こそう！ —地域住民と国有林を結ぶ取組—	四万十森林管理署 黒尊森林事務所 地域技術官	河野 祐希	
12	林業遺産「いの町の森林軌道跡」を活用した地域活性化策の検討	いの町森林政策課 課長	野村 考宏	
13	プレイハウス製作	高知県立高知工業高等学校 建築科3年生	井川 詩月 隅田 啓太 久武由布子 細井 一真 山脇 優也 渡邊 将志	四国森林管理局局長賞（奨励賞）
14	四万十高校の活動と結の森	高知県立四万十高等学校 自然環境コース1年生	吾妻 勇哉 田邊 涼壱 中野 珠理 林 秋美 宮脇 亮	四国森林管理局局長賞（奨励賞）
15	平成26年に見られた稀少樹種トガサワラ及びシコクシラベの大量結実とジーンバンク収集について ※特別発表	(独)森林総合研究所林木育種センター関西育種場育種課育種研究室 主任研究員 収集係長 普及調整専門職 契約職員 育種研究室長	岩泉 正和 檜木野俊昭 笹島 芳信 祐延 邦資 磯田 圭哉	
16	「QGIS」を使用した森林管理 ※特別発表	愛媛県農林水産研究所林業研究センター 主任研究員	福嶋 政徳	
17	浸透移行粒剤を用いたシキミ吸汁性害虫の防除 ※特別発表	高知県立森林技術センター 主任研究員	藤本 浩平	
18	ヒノキ人工林の表土保全について考える ※特別発表	(独)森林総合研究所四国支所 森林生態系変動研究グループ長	酒井 寿夫	